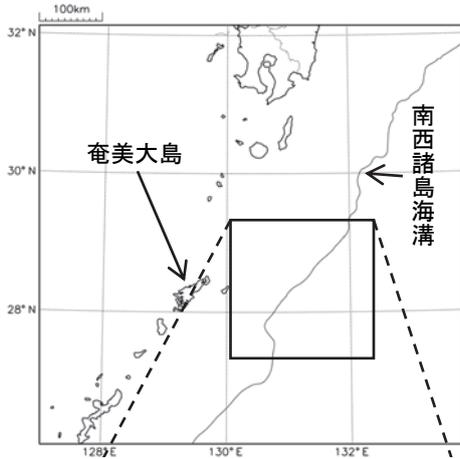
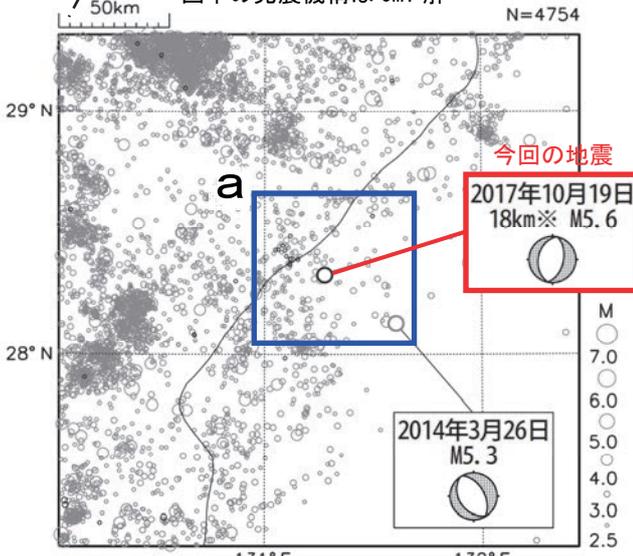


## 10 月 19 日 奄美大島北東沖の地震



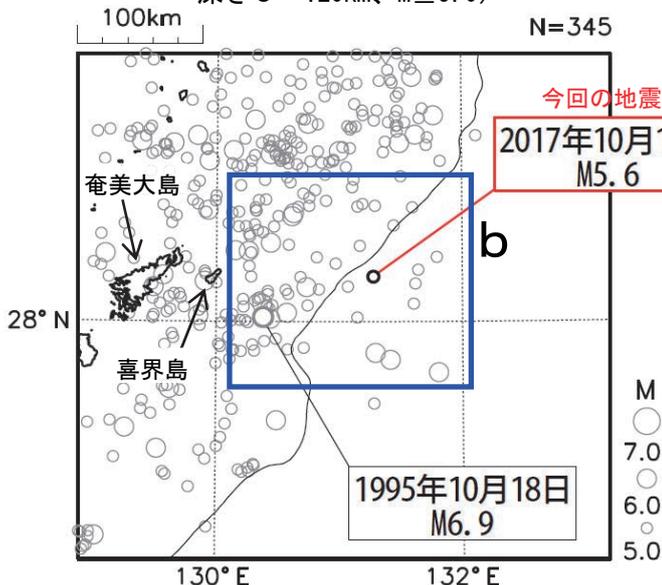
震央分布図  
(1997 年 10 月 1 日～2017 年 10 月 31 日  
深さ 0～120km、 $M \geq 2.5$ )

2017 年 10 月の地震を濃く表示  
図中の発震機構は CMT 解



※今回の地震の深さは CMT 解による  
震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2017 年 10 月 31 日、  
深さ 0～120km、 $M \geq 5.0$ )

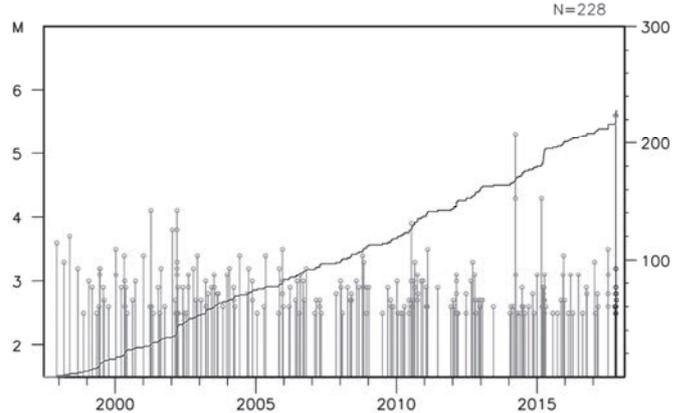


2017年10月19日18時02分に奄美大島北東沖の深さ18km（CMT解による）でM5.6の地震（最大震度3）が発生した。この地震は南西諸島海溝付近のフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、東西方向に張力軸を持つ正断層型である。

1997年10月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M4.0以上の地震が時々発生しており、2014年3月26日にもM5.3の地震（最大震度3）が発生した。

1923年1月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1995年10月18日に発生したM6.9の地震（最大震度5）では、鹿児島県の喜界島で約2.7mの津波（遡上高）を観測するなど喜界島や奄美大島で小型船舶の破損や転覆等の被害が生じた（験震時報（第61号）による）。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図

